土　地　改　良　事　業　変　更　計　画　書

農村集落基盤再編・整備事業

（　用水路　3　：　甲南町　市之瀬　工区　）

地　区　名　　甲賀２地区

事業主体　　甲　賀　市

目　　次

第１章　目的……　1

第２章　地域及び地積……　1
　第１節　地域……　1
　第２節　地積……　1

第３章　現況……　2
　第１節　気象及び海象……　2
　第２節　土地状況……　3
　第３節　水利状況……　5
　第４節　道路概況……　7
　第５節　地域農業の概況……　8
　第６節　地域環境の概況……　11

第４章　一般計画……　12
　第１節　事業計画の要旨……　12
　第２節　営農計画及び土地利用計画……　12
　第３節　用水計画……　16
　第４節　排水計画……　19
　第５節　道路計画……　19
　第６節　農用地造成計画……　19
　第７節　洪水調節計画……　19
　第８節　干拓計画……　19
　第９節　農用地整備計画……　19
　第10節　老朽ため池改修計画……　19

第５章　主要工事計画……　20
　第１節　用水施設……　20
　第２節　排水施設……　21
　第３節　道路及び索道……　21
　第４節　農用地造成……　21
　第５節　洪水調節施設……　21
　第６節　干拓施設……　21
　第７節　農用地整備施設……　21
　第８節　老朽ため池改修施設……　21

第６章　附帯工事計画……　22

第７章　工事着手及び完了の予定時期……　22

第８章　環境との調和への配慮……　22

第９章　換地計画の概要……　22

第10章　事業費の総額及び内訳……　23

第11章　効用……　23

第12章　関連する事業……　24

第13章　現況・計画図面……　24

第１章　目的

本事業は、甲賀市農村振興基本計画の将来像実現に向けた施策を推進していくために実施する事業の一つであり、「農業生産基盤の整備」と「農村生活環境の整備」を併せて実施していくものである。

第２章　地域及び地積

第１節　地域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農業用用排水施設整備	滋賀県甲賀市甲南町杉谷　（市之瀬）

第２節　地積

（令和2年8月現在）　　（第２表）

事　業　名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農業用用排水施設整備	甲賀市	3.74	0.13	－	－	－	3.87	
合　　計		3.74	0.13	－	－	－	3.87	

第３章　現況

第１節　　気象及び海象

１　一般気象

（第３表-1）

観測所名	土山	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備　　考
観測期間	S63年～H29年	5月　～　9月	10月　～　4月		
平　均　気　温　(℃)		21.5　℃	7.4　℃	13.3　℃	
降 水 量	平　均 (mm)	990　mm	653　mm	1,642　mm	
	基準年 (mm)	mm	mm	mm	
降水日数	平　均 (日)	60　日	72　日	132　日	
	基準年 (日)	日	日	日	
根　雪　期　間				－　　日間	
無　霜　期　間				－　　日間	
最　多　風　向		ＥＳＥ	最大風速 (風向)	16.6 m/s （ ＥＳＥ ）	最多風向発生時期　　4月　～10月 最大風速発生年月日　　平成25年4月6日

２　特殊気象

（第３表-2）

観　測　所　名	第　1　位			第　2　位			第　3　位			第　4　位			第　5　位			備　　考
土山																
観　測　期　間	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	数　量	年月日	発生確率	
S63年～H29年																
最大日雨量(mm)	231.0	H7.5.12		223.5	H26.8.9		216.0	H29.10.22		203.0	H25.9.16		203.0	H23.7.19		
最大時間雨量(mm)	47.5	H25.9.16		46.0	H6.9.16		45.5	H26.8.9		45.0	H11.8.1		43.0	H21.7.22		
最大4時間雨量(mm)																
最大連続雨量(mm)	423.0	S63. 8.10 ～ 8.17		421.0	H29.10.13 ～ 10.25		401.0	H 2. 9.13 ～ 9.20		364.5	H25. 9.15 ～ 9.16		363.0	H 7. 5.11 ～ 5.16		
最大連続干天日数 (日)	44	H10.12. 6 ～H11.1.18		40	H21.12.12 ～H22.1.20		40	H16. 1.20 ～ 2.28		38	H 9.10. 5 ～ 11.11		34	H 7.11.21 ～ 12.24		

３　海　　象　　該当なし

第２節　土地状況

１　地形、土壌及び侵食の程度

（第４表-1-1）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° 10°～15°	8°～15° 8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
農業用排水施設整備用	面積(ha)	－	－	3.74	－	－	3.74	0.13	－	－	－	－	－	－	0.13	224.8	193.7	
	比率(%)	－	－	100	－	－	100	100	－	－	－	－	－	－	100			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)	－	－	3.74	－	－	3.74	0.13	－	－	－	－	－	－	0.13			
	比率(%)	－	－	100	－	－	100	100	－	－	－	－	－	－	100			

（第４表-1-2）

項目 / 土壌統（区）名	土壌統（区）分一覧表										面積（ha）			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			水農業用施設整備排用		計	
灰褐色土壌壌土型	灰褐色	なし	なし	含む	L	CL	ー	なし	水積	非固結堆積岩	3.74		3.74	G62
計											3.74		3.74	

2　土地分類　　該当なし

3　土地利用の状況

（令和2年8月現在）　（第４表-3）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用用排水施設整備	甲賀市（用水路 3）	3.74	0.13	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3.87	
合計		3.74	0.13	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3.87	

4　土地所有の状況

（令和2年8月現在）　（第４表-4）

事業名	所有別 / 区分	個人所有	県所有	市所有	土地改良区所有	計	備考
農業用用排水施設整備	面積 (ha)	3.87				3.87	
	受益者数 (人)					－	
	筆数 (筆)					－	
	権利関係	所有権					
	備考(関係戸数)	7				7	

第３節　水利状況

１　用水状況

地区内の用水は、ため池から取水している。用水路は県営及び団体営ほ場整備事業等で整備されている。経年変化による水路の損傷や沈下により、配水や営農に支障をきたしている。

（２）用水施設

（ア）取水方法一覧表

（第５表-1）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 100ha以上		100ha～30ha		30ha未満		計		水利権		慣行水利権		延べ取水量		備考
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s		m3/s	
農業用用排水施設整備	貯水池					1	3.87	1	3.87							
	井堰					－	－	－	－							
	自然取入口					－	－	－	－							
	揚水機					－	－	－	－							
	その他					－	－	－	－							
	計					1	3.87	1	3.87							

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表-2）

事業名	項目 / 施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用用排水施設整備	貯水池		－					
	井堰		－					
	自然取入口		－					
	揚水機		－					
	用水路	1路線	3.87	現場打、素掘、PU	現場打 H350×W500、素掘、PU-300×300	S51～	老朽化	
	その他		－					
	計		3.87					

（３）用水に関する被害状況　　該当なし

（４）ため池決壊の場合の想定被害状況　　該当なし

２　排水状況　　該当なし

３　河川状況　　該当なし

第４節　道路概況　　該当なし

第５節　地域農業の概況

１　産業別就業人口

（第７表-1）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	水道業 熱供給 電気ガス（人）	通信業 運輸（人）	小売業 卸売業（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
甲賀市	43,303	1,469	77	4	29	2,134	14,332	83	2,240	5,452	472	335	14,039	1,172	1,465	
計	43,303	1,469	77	4	29	2,134	14,332	83	2,240	5,452	472	335	14,039	1,172	1,465	
比　率　(%)	100	3	0	0	0	5	33	0	5	13	1	1	33	3	3	

資料：令和2年国勢調査

２　経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況

（第７表-2）

区分 / 市町村名	農業経営体数（経営体）	経営耕地広狭別農業経営体数（経営体）														1経営体当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		備考
		0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0ha	1.0～1.5ha	1.5～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0～5.0ha	5.0～10.0ha	10.0～20.0ha	20.0～30.0ha	30.0～50.0ha	50.0～100.0ha	100.0～150.0ha	150.0ha以上	田	畑	樹園地	小計	草地	計	一戸当たり団地数	団地当たり面積(ha)	
甲賀市	####	19	319	528	244	131	96	76	53	35	10	15	5	1	－	2.1	0.1	0.2	2.4	－	2.4	－	－	
計	####	19	319	528	244	131	96	76	53	35	10	15	5	1	0	2.1	0.1	0.2	2.4	－	2.4	－	－	
比率(%)	100	1	21	35	16	9	6	5	3	2	1	1	0	0	0	88	4	8	100	－	100	－	－	

資料：2020年農林業センサス

３　主要家畜頭数

（第７表-3）

項目 / 市町村名	主要家畜 乳用牛 数量(頭)	乳用牛 経営体数(経営体)	肉用牛 数量(頭)	肉用牛 経営体数(経営体)	豚 数量(頭)	豚 経営体数(経営体)	採卵鶏 数量(100羽)	採卵鶏 経営体数(経営体)			備考
甲賀市	745	9	130	7	x	x	704	4			「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの
計	745	9	130	7	x	x	704	4			
100経営体当たり数量(頭・100羽)	49		8		－		46				
飼養経営体数割合（%）	1		0		－		0				

資料：2020年農林業センサス

4　主要作物作付状況

（第７表-4）

市町村名			甲賀市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積（ha）			5,200						5,200			
総本地面積（ha）			4,865						4,865			
区分 / 作物名			作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	作付面積（ha）	単位面積当たり収量（kg/10a）	（%）	
田	表作	水稲	2,580	510					2,580	510	53.0	
	裏作	小麦	305	244					305	244	6.3	
	表作	大豆	307	118					307	118	6.3	
	小計		3,192						3,192		65.6	
畑	だいこん		4	－					4	－	0.1	
	にんじん		X	－					－	－	－	
	やまのいも		1	－					1	－	－	
	さといも		1	－					1	－	－	
	はくさい		X	－					－	－	－	
	キャベツ		X	－					－	－	－	
	ほうれんそう		1	－					1	－	－	
	ねぎ		6	－					6	－	0.1	
	たまねぎ		9	－					9	－	0.2	
	きゅうり		2	－					2	－	－	
	なす		2	－					2	－	－	
	トマト		3	－					3	－	0.1	
	その他		9	－					9	－	0.2	
	小計		38						38		0.8	
	花き		2	－					2	－	－	
	その他		109	－					109	－	2.2	
									－	－	－	
									－	－	－	
	小計		111						111		2.3	
計			3,341						3,341		68.7	
市町村別延べ作付率（%）			68.7						68.7			

資料：令和元年作況調査（収量は直近五カ年平均）、畑作物は2015農業センサス

5　農業の動向

（第７表-5）

区分＼項目	農業経営体	B	A	土　地	B	A	主　要　作　物	B	A	大　家　畜	B	A	地　域 指定等	備　　考
変化の状況 （C年を100とする指数）	農業 経営体数	83	64	耕　地	98	92	水　稲	99	98	乳用牛	89	84	農業振興地域 地域指定 平成21年度 整備計画 平成21年度	A:令和2年 （農林業センサス） B:平成27年 （農林業センサス） C:平成22年 （農林業センサス）
	個人 経営体数	82	62	田	99	94	小　麦	75	60	肉用牛	－	93		
	団体経営体 (法人)数	171	184	畑	84	79	大　豆	86	72	豚	－	－		
	団体経営体 (非法人)数	67	54	樹園地	94	86				採卵鶏	47	47		
変化の理由	後継者不足や、高齢化により農業経営体数が減少する一方、担い手の育成により団体経営体(法人)は増加。			農地転用等による耕地面積の減。			気候やほ場条件等により、麦・大豆の作付に向かない地域では、非主食用米へ転換してきたことにより、小麦、大豆の作付けは減少。			畜産農家数は減少しているが、乳用牛、採卵鶏とも生産量を維持。				

資料：2020,2015,2010年 農林業センサス、作物統計

「-」…統計数値の非公表等で、変化の状況把握ができないもの

第６節　地域環境の概況

１　自然環境

本地区は、滋賀県南東部に位置し、東は鈴鹿山脈、南西は田上山に続く信楽の山地があり、鈴鹿山脈を源とする県内最大の河川である野洲川が市域中央を東から西に流下している。
野洲川や杣川の両岸には、平坦な河岸段丘が見られる。鈴鹿、信楽の両山地の間には、県内最大の丘陵地が広がっており、浸食が進み樹枝状の複雑な谷を形成している。
水口町の平坦地に広がる農地は、砂壌土地帯であり、ほ場整備も進んでいることから大規模水田作が展開可能な地帯である。甲賀町・甲南町に広がる農地は、重粘土地帯であり、土が硬く排水が悪いため、ほ場整備後も農作業が困難な状況である。
年間降雨量は1,500～1,600mmである。積雪量も特異な年を除いては、平野部で最高20cm前後であり、積雪日数・積雪量ともに少ない地域となっているが、東部の山間部では30cm以上積雪がある。降霜は11月から4月まで見られるが、4月から5月にかけて山岳地帯に晩霜があり、しばしば農作物に被害をもたらすことがある。

２　社会環境・地域指定

大阪・名古屋から100km圏内に位置し、近畿圏と中部圏をつなぐ国道1号、新名神高速道路が東西に走っている。JR草津線が地域を横断し、JR草津線貴生川駅を起点として近江鉄道本線・信楽高原鐵道がある。
水口町32集落、甲南町26集落、甲賀町21集落の79の農村集落からなる農業振興地域である。

３　生活環境

本地区を含む甲賀市は、滋賀県の南東部に位置し、近畿圏と中部圏をつなぐ場所に位置している。主要幹線道路として国道1号及び主要地方道草津伊賀線が地域を横断し、また国道307号が地域を縦断する広域交通拠点である。さらに新名神高速道路が平成19年度に開通し、市内には甲賀土山IC、甲南IC、信楽ICが設置されている。
農業については、平野部では水田を中心とする平坦な農地を生かした土地利用型農業を展開しているが、山地及び丘陵部の農地は傾斜地が多い。
昭和38年より始まった第1次農業構造改善事業より、農業水利事業やほ場整備事業等により整備してきたが、老朽化の著しい施設もある。また、集落内の排水施設や防犯灯等の整備により安全性を確保することが求められている。

第４章　一般計画

第１節　事業計画の要旨

１　要　旨

土地基盤の整備については、昭和38年より始まった第1次農業構造改善事業より順次整備が進んできたが、老朽化の著しい施設もある。各地域の地理的条件等を踏まえ、効率性を考慮した持続的な営農が可能となるよう、土地改良施設の更新整備を進めていく必要がある。

２　事業別面積

（第８表）

事業名	農業用用排水施設整備																		計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
農業用用排水施設整備	3.74	0.13	－	－	－	3.87						－						－	3.87	
						－						－						－	－	
計	3.74	0.13	－	－	－	3.87	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3.87	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１　営農計画の概要

本地区の営農は、稲作を中心とした経営が主体であり、現在は農業従事者の高齢化等により個別経営体での持続的な営農が困難な状況となっている。本事業による整備により効率的かつ安定的な用水の確保、施設機能の維持を図り、集落営農の推進、機械の共同利用・共同作業により農業経営の安定化と地域農業の維持・向上を図る。

２　土地利用区分

（第９表-1）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業用用排水施設整備	現況	3.74	0.13	－	－	－	－	3.87	－	－	－	3.87	
	計画	3.74	0.13	－	－	－	－	3.87	－	－	－	3.87	
	現況												
	計画												
計	現況	3.74	0.13	－	－	－	－	3.87	－	－	－	3.87	
	計画	3.74	0.13	－	－	－	－	3.87	－	－	－	3.87	

3　作付方式　　（第９表-2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	3年目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備考
農業用排水施設整備	現況	水稲	水田				○	△	△	—	—	—	××						○	△	△	—	—	—	××						○	△	△	—	—	—	××				○—○ 播種
		小麦		—	—	—	—	—	×				○	—	—	—	—	—	—	—	×				○	—	—	—	—	—	—	—	×				○	—	—	△—△ 定植
		大豆							○	—	—	—	×								○	—	—	—	×							○	—	—	—	×			×—× 収穫
	計画	水稲	水田				○	△	△	—	—	—	××						○	△	△	—	—	—	××						○	△	△	—	—	—	××				
		小麦		—	—	—	—	—	×				○	—	—	—	—	—	—	—	×				○	—	—	—	—	—	—	—	×				○	—	—		
		大豆							○	—	—	—	×								○	—	—	—	×							○	—	—	—	×				
	現況																																							
	計画																																							

4　生産計画

（第９表－３）

事業名	項目／地目名		作物名	作付面積（ha）			作付率（%）		単位面積当たり収量(kg/10a)			生産量（t）			同左生産量増減の内訳（t）		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加	
農業用用排水施設整備	水田	表作	水稲	2.4	2.4	－	67	67	510	510	－	12.2	12.2	－	－	－	本地率 98%
			大豆	1.2	1.2	－	33	33	244	244	－	2.9	2.9	－	－	－	本地率 98%
			小　計	3.6	3.6	－	100	100									
		裏作	小麦	1.2	1.2	－	33	33	118	118	－	1.4	1.4	－	－	－	本地率 98%
			小　計	1.2	1.2	－	33	33									
	計			4.8	4.8	－	133	133									
	普通畑	春夏作															
			小　計														
		秋冬作															
			小　計														
	計																
	合　計			4.8	4.8	－	133	133									
	水田	表作															
		裏作															
			小　計														
	計																
	普通畑	春夏作															
			小　計														
		秋冬作															
			小　計														
	計																
	合　計																

※作付面積は本地面積

5　労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目 / 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a） 区　分	現　況	計　画	増　減	備　考
農業用用排水施設整備	水田	水稲	2.4	人　力	11.9	11.9	-	
				機械力	3.7	3.7	-	
		小麦	1.2	人　力	4.9	4.9	-	
				機械力	3.0	3.0	-	
		大豆	1.2	人　力	4.5	4.5	-	
				機械力	2.4	2.4	-	
	小　計		4.8					
合　計			4.8					

6　級地別土地利用区分　　　　　　該当なし

7　土地配分計画　　　　　　　　　該当なし

第３節　用水計画

１　計画基準年　　平成25年

２　計画かんがい方式

（１）水　田

項目 作付	代かき期間	かんがい期間	備　　考
早期	5月1日　～　5月10日	5月11日　～　9月1日	各地区における期間の中央値

（２）畑（輪換畑）

うね間かんがい

3　計画用水量

（1）かんがい用水

（第10表-1-1）

項目 / 系統名	種別	面積（ha） 事業名 農業用用排水施設整備	事業名	事業名 計	水田かんがい 普通期 計画単位用水量平均 (mm/日)	水田かんがい 代かき期 計画単位用水量代かき (mm)	水田かんがい 面積 (ha)	水田畑利用 1日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	水田畑利用 平均間断日数 (日)	水田畑利用 面積 (ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	畑地かんがい 平均間断日数 (日)	畑地かんがい 面積 (ha)	その他 計画単位用水量平均 (mm/日)	その他 面積 (ha)	消費水量 (m^3/s)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m^3/s)	粗用水量 最大 (m^3/s)	備考
用水路3		3.74		3.74	18	130	3.74	－	－	－	－	－	－	－	－	0.019	15	0.022	0.022	
計		3.74		3.74			3.74			－			－		－					

（2）営農飲雑用水　　該当なし

4　水源計画

（1）水利用計画

（第10表-2）

区分 / 項目		消費水量 a (m3/s)	有効雨量 b (m3/s)	純用水量 c＝a－b (m3/s)	粗用水量 d＝c／(1－α) (m3/s)	現況利用可能水量 水源名	現況利用可能水量 取水地点利用可能量 e (m3/s)	現況利用可能水量 ほ場利用可能量 f (m3/s)	不足水量 純不足水量 g＝c－f (m3/s)	不足水量 全不足水量 h＝d－e (m3/s)	水源依存量 水源名	水源依存量 水量 (m3/s)	水源工種	備考 損失率：α＝0.15
農業用用排水施設整備	代かき期	0.019	－	0.019	0.022	河川	0.022	0.022	－	－	－	－	－	
	普通期	0.019	－	0.019	0.022	河川	0.050	0.050	－	－	－	－	－	
	計													

（２）用水対策

（ア）貯水池　　該当なし

（イ）井堰及び自然取入口　　該当なし

（ウ）揚水機　　該当なし

（エ）用水路

（第10表-6）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名			最大通水量	延長	構造	備考
	農業用用排水施設整備		計	(m^3/s)	(km)		
用水路 3	3.87		3.87	0.0227	0.200	管体工VUφ300 L=156m 取付桝工、現場打桝工 水槽工 N=3、既設ゲート改修工 N=1	
計	3.87		3.87		0.200		

（オ）その他の水源施設

（３）水温水質　　該当なし

第４節　排水計画　　該当なし

第５節　道路計画　　該当なし

第６節　農用地造成計画　　該当なし

第７節　洪水調節計画　　該当なし

第８節　干拓計画　　該当なし

第９節　農用地整備計画　　該当なし

第10節　老朽ため池改修計画　　該当なし

第５章　主要工事計画

第１節　用水施設

１　貯水池　　該当なし

２　頭首工　　該当なし

３　揚水機　　該当なし

４　用水路

（第17表-4）

項目 / 水路名	かんがい面積（ha） 事業名			通水量	延長（km）			構造	勾配	主要構造物	備考
	農業用用排水施設整備		計	（m^3/s）	開きょ	トンネルその他	計				
用水路 3	3.87		3.87	0.0227	0.200	－	0.200	VU300、水槽工、既設ゲート改修	－	－	
計	3.87		3.87		0.200	－	0.200				

５　その他かんがい施設　　該当なし

第２節　排水施設　　該当なし

第３節　道路及び索道　　該当なし

第４節　農用地造成　　該当なし

第５節　洪水調節施設　　該当なし

第６節　干拓施設　　該当なし

第７節　農用地整備施設　　該当なし

第８節　老朽ため池改修施設　　該当なし

第６章　附帯工事計画　　該当なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

着　　手	令和 3 年度
完了予定	令和 4 年度

第８章　環境との調和への配慮

１　整備上の配慮等事項

・老朽化の著しい既設用排水施設の更新整備であり、周辺環境や既存の景観に影響を及ぼさないよう配慮する。

２　施工上の配慮等事項

・地区外への濁水流出防止に努める。
・近接に住宅がある地区もあるため、騒音・振動に配慮して施工する。

第９章　換地計画の概要　　該当なし

第１０章　事業費の総額及び内訳

（第26表）

区分＼事業名	農業用用排水施設整備（千円）	備　　考
用水路	9,229	
小　　計	9,229	
測量試験費	4,063	
小　　計	4,063	
合　　計	13,292	

第１１章　効用

（第27表）

事業名	区分＼項目	年増加見込効果額（千円）	年増加見込所得額（千円）	備　　考
農業用用排水施設整備	作物生産効果	1,244	1,243	
	品質向上効果	610	－	
	営農経費節減効果	△ 247	－	
	維持管理費節減効果	△ 43	72	
	国産農産物安定供給効果	297	－	
	計	1,861	1,315	

＜参考＞

総便益額：　38,172 千円

第１２章　関連する事業

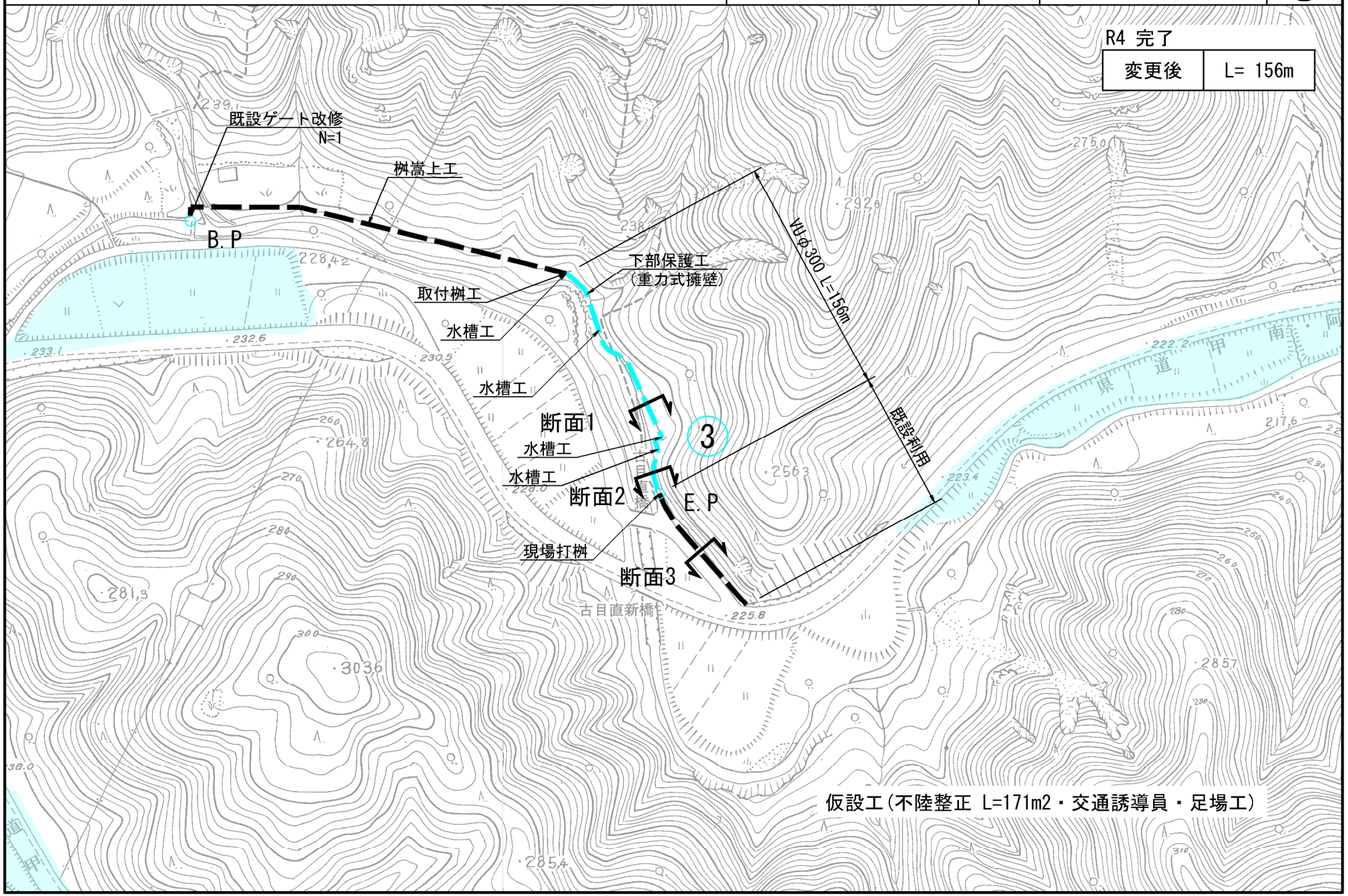
該当なし

第１３章　現況・計画図面

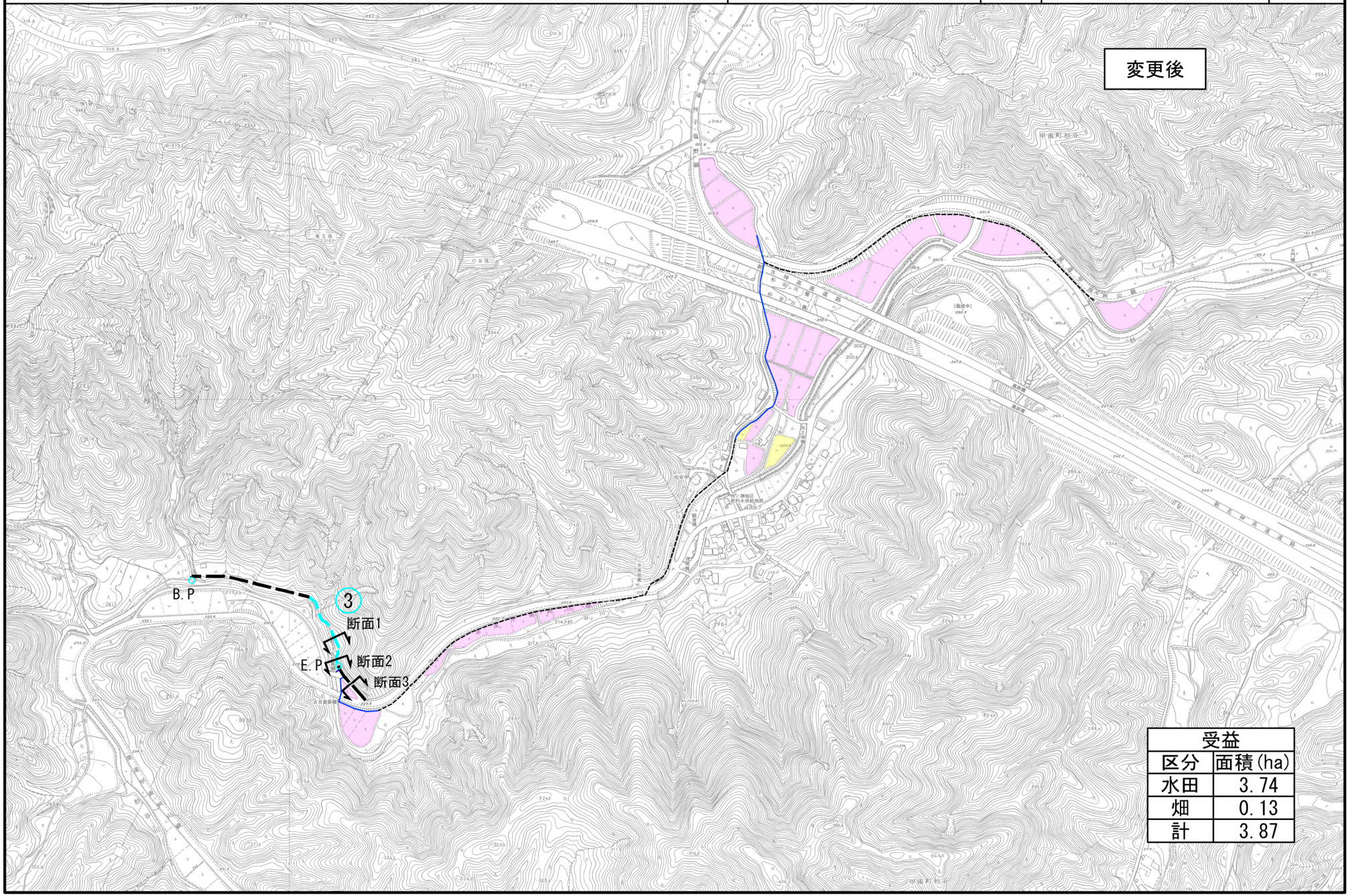
１　現況計画平面図

別添のとおり

農村集落基盤再編・整備事業　甲賀２地区 拡　大　図　S=1:2,500	農業用用排水施設整備 （用水路）	3	甲南町　市之瀬	N



農村集落基盤再編・整備事業　　甲賀２地区 受　益　図　　S=1:8,000	農業用用排水施設整備 （用水路）	3	甲南町　市之瀬	N



受益	
区分	面積(ha)
水田	3.74
畑	0.13
計	3.87